

色の秘密

まとめ

1. 水の量で「色ムラ」と「べた塗り」ができる。
2. 色の種類によっては、色ムラになりやすい。（濃い色が特に）
3. 白を混ぜると色ムラになりにくい（不透明になるから）
4. 絵の具は塗る面積にあった量を出すこと。
5. 混色すると鮮やかさが落ちる。（鈍い色になる）
6. 実際に混色すると、思っていた色になるとは限らない。
（小学生の使う絵の具の、赤と青では、綺麗なムラサキ色にならない。）
7. 上から重ね塗ると色が沈む（暗くなって明るくできない。※絵の具の特性によるもの）
8. 小学生の使う絵具はガッシュといい、乾いても水で溶けてしまう。
9. 実験と実践あるのみ！
（色々試してみることで、新しい発見がある！たくさんやった人が上手になる！）

水入れの使い方

- 大きい仕切りで筆を洗う。小さい仕切りで水を少しずつ筆先に付けて調節する。
- 大きい仕切りは汚れた水になる。小さいところは、できるだけ汚さない。
- 水を切るときは、振り回さない。水入れに押さえつけるようにする。

筆の使い方

- 筆の小さいものは細かいところを塗るためにある。
- 筆の左側の側面を使って塗ると、はみ出しにくい。（手をついて固定して塗る。）
- 筆を洗うときは、根本までしっかりおさえて洗う。
- 水入れに先をつけっぱなしにしない。（先が曲がる）

